

27 大生郷緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 天満宮周辺一帯（水海道市）
- (2) 指 定 昭和58年3月31日（茨城県告示第589号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、スダジイ、カシ類の常緑樹にコブシ、ケヤキ等の落葉樹が混生する森林である。

大径木となって、うっそうとしげった樹冠の下に、南方系の大型蝶、アオスジアゲハが生息する等、集落内において、これらの良好な自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

スダジイ、ヤブツバキ、シラカシ、アラカシ、ヒサカキ、シロダモの常緑樹に、コブシ、ケヤキ、エゴノキ、ムクノキ等の落葉樹が、ともに大径木となって混生している森林である。

林内には、上層木の若木が数多く見られ、その下にヤブコウジ、ベニシダ、テイカカズラ、アオキ、ヤブミョウガ等が豊富に生育している。

特にうっそうとしげった樹冠は、県西地方において特異性を有している。

イ 野生動物

森林及び周辺に、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハ等のアゲハチョウ類、チャバネセセリ、ダイミョウセセリ等のセセリチョウ類、ルリシジミ、ベニシジミ等のシジミチョウ類、イチモンジチョウ、コムスジ、ゴマダラチョウ等のタテハチョウ類が数多く生息している。

このうち、アオスジアゲハは、南方系の大型蝶で希少種である。

また、アジアイトトンボ、シオカラトンボ、ナツアカネ、アキアカネ等のトンボ類や他の昆虫類も多種見られる。

さらに、キジバト、アカゲラ、ヒヨドリ、モズ、カワラヒワ、ホオジロ、メジロ、ムクドリ、カケスのほかに夏鳥のカッコウ、ホトトギス、アオバズク、ヨタカ、冬鳥のジョウビタキ、ツグミ、カシラダカ等も多数確認されている。

(3) 区 域

ア 区域の概要

本地域は、水海道市の北部に位置する大生郷町の天満宮地内のまとまった森林地域である。

イ 位置及び区域

水海道市大生郷町の一部

別図のとおり

ウ 面積 0.91ヘクタール

エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

| 国 有 地 | 公 有 地 | 民 有 地 | 合 計 |
|-------|-------|-------|------|
| 0 | 0 | 0.91 | 0.91 |

(面積は、図上測定による概算値である。)

(4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、大生郷天満宮地内において、スタジイ、カシ類、コブシ、ケヤキ等が、大径木となって、うっそうとしげった樹冠を見せている森林である。

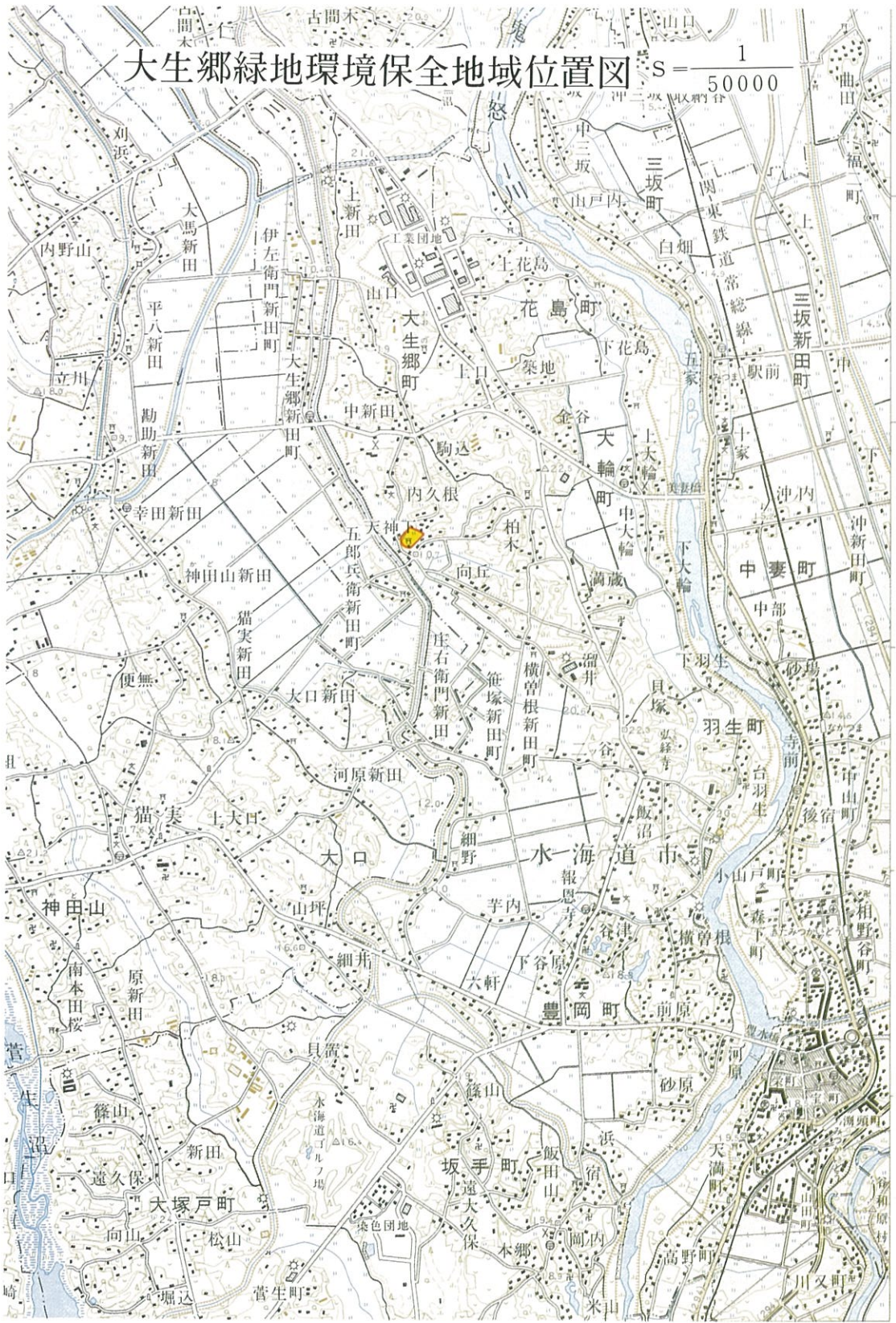
この下に、南方系の大型蝶で、かつ希少種であるアオスジアゲハが生息するほか、昆虫類、鳥類が数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

(5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

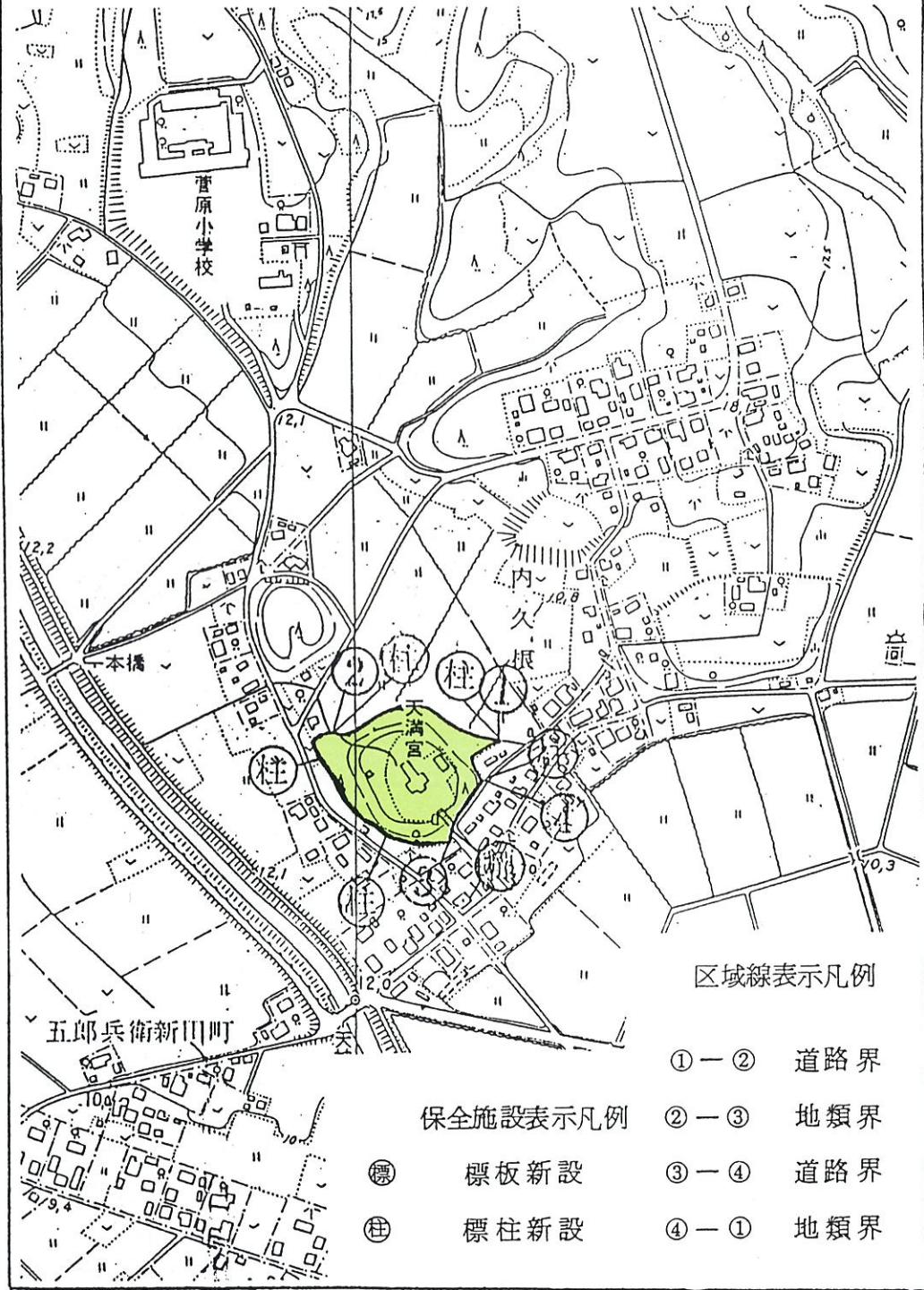
大生郷緑地環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



大生郷緑地環境保全地域区域図

S = $\frac{1}{5000}$



区域線表示凡例

- ①—② 道路界
- ②—③ 地類界
- ③—④ 道路界
- ④—① 地類界

保全施設表示凡例

- ⊙ 標板新設
- ⊕ 標柱新設